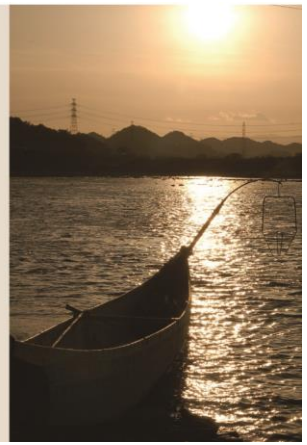




Rotary 関ロータークラブ

2019-20 年度国際ローターテーマ RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー
 『ローター：ローターは世界をつなぐ ROTARY: ROTARY CONNECTS THE WORLD』
 2019-20 年度 関ロータークラブ会長 テーマ
 ～私ができる社会貢献をしよう～ 54 代会長 土屋佳久

■会長 土屋佳久 ■副会長 木村 聡 ■幹事 尾崎嘉彦 白田龍司



■例会：火曜日 12：30

■例会場：関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店 2F

■事務局：関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F

本日のプログラム 第 2563 回例会 2019 年 12 月 3 日(火)



「率先励行～青年会議所のまちづくり運動～」

関青年会議所 理事長 小島祐治様



前例会の記録・第 2561 回 11 月 19 日(火)12:30

「職業奉仕とは何か」

国際ローター第 2630 地区 職業奉仕委員会
 委員 北川宥智様

◆開会点鐘

◆「それこそローター」斉唱

◆副会長挨拶



本日は、会長に変わり、副会長の立場で私が話をさせて頂くことになりました。何を話させて頂けばよいのか色々考えましたが、ご存知の通り私はベトナムに毎月出張しています。一回の出張で、1 週間から 2 週間滞在しています。そんなことでベトナムという国の事を少し話させて

頂こうと思います。ベトナムは南北に長い国で首都が北部のハノイで、2 番目の都市が南側のホーチミン、そして 3 番目の都市として中部のダナンという地域が発展してきています。昨年、一昨年前に関ロータークラブとして訪問しボランティア活動を行ったのは南側のホーチミン近郊でした。現在のベトナムの人口は約 9500 万人(日本の人口 1 億 2614 万人)で、毎年 100 万人の人口が増えています。単純に 10 年で 1000 万人の人口増加で、2050 年までには日本の人口を上回ることとなります。しかも平均年齢は 31 歳と若く、日本の平均年齢 47 歳と比べるとどれくらい若い国かわかると思います。国土面積は 331, 210 km²(日本 377, 915 km²)世界順位では、日本が世界の 61 番目に対してベトナムは 65 番目と日本の国土面積の 90% 四国 2 つ分小さいこととなります。しかし日本は山が多く人間の住める場所が限られますが、ベトナムは平地が多いため人が住むところは日本よりはるかに多いと聞いています。宗教は 80% 以上が日本と同じ仏教徒です。したがって、何となくフィーリング合うと感じるのは仏教徒

が多いことが大きく関係していると思います。経済に関しては、2018 年の GDP 成長率が 7.08% とアジアの中でもトップクラスの成長を続けています。この成長はベトナムで事業活動をしているので、身をもって経験しています。例えば、2010 年に当社はベトナム法人を設立しました。その時に当社の工場近くに当社のスタッフが 300 万円の土地を購入しました。その土地を 2017 年に売った時なんと、800 万円で販売できたと聞いています。要するに 7 年で倍以上の土地の値段が上がったということです。勿論工業団地内なので土地の価値が高いところではありますが・・・当社のお客様で、2012 年機械の販売を始めたころ、営業に訪問した肉まんの製造企業があります。当時商店街の一角に店を構えショーケースに並べて販売をしていました。その裏で旦那さんが肉まんを手作りで製造しているような小さな企業でした。その企業が今年、14000 m²の工場を完成させます。また、肉まんの販売はベトナムで 70% を超えると言われており、何処のスーパーに行っても、コンビニに行ってもそこの肉まんが売っているほどになりました。これが、今のベトナムの姿です。私は日本の高度成長期をビジネス上で経験したことはありませんが、今のベトナムはそれに匹敵するのではないかと思います。しかも情報通信が過去よりはるかに優れているため急激な成長となっているのでは無いかと想像しています。私個人の感想ですが、とても活気が面白い国であると思います。機会があれば是非、訪問してみてください。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 山田一成
 会員 50 名中 出席 27 名 出席率 56.25%

◎ニコボックス委員会 委員 岩本雅文

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は国際ローター第 2630 地区 職業奉仕委員会 委員 北川宥智様 ようこそ関ロータークラブにおいでくださいました。「職業奉仕」について再度勉強させていただきます。どうぞ宜しくお願いします。
 堀部、後藤、林(昇)、長尾、加藤(照)、岩本、福

田、山田、奥村、栗倉の皆さん・・・先日、本日は、国際ロータリー第 2630 地区 職業奉仕委員 北川有智様 よろしくお願ひいたします。「職業奉仕」がロータリアンの大切な理念であることはわかっていますが、本日のお話を聞いて、もっと具体的に体感できると楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

今峰、後藤、長尾、岩本、岩倉、栗倉、臼田の皆さん・・・11 月 25 日、中華料理しょうりゅうさんで IGM が開催されました。ホストは塚田さんでしたが、仕事でフィリピンに長期滞在しておられますので、ホストの代行を後藤さんが務めてくださいました。詳しい内容は、栗倉さんが報告してくださいます。ホストの塚田さん、ホスト代行の後藤さん、貴重な時間を過ごささせていただきありがとうございました。

◆IGM の報告 報告者：栗倉晋吾

ホスト 塚田さん R 情報 今峰先生

リーダー 早川先生

義務出席 岩本さん 岩倉さん

特別出席 臼田さん 栗倉

でしたが塚田さん・早川先生がご欠席でしたのでホスト代理 兼 特別出席 後藤さん リーダー代理 長尾先生のメンバーで しょうりゅうにて開催されました。テーマは ロータリーに入って変わったこと でした。仲間、人脈が広がった。個人ではできないようなボランティア・奉仕活動ができるようになった。例えば、ベトナムに PC を寄贈したり、スリランカに消防車を寄贈したりというのはロータリーでなければできない事業で世界とつながれるような環境ができた。また人前で話す機会が多くなり物怖じせず上手に話すことが出来るようになった。普段仕事で接する人以外の人の意見や考えに触れる機会が増え、先輩方の経験やその当時の貴重な話を聞くことで、さまざまな考えを吸収し今の状況と比較し今後の生活や仕事に活かせるようになった。時間と体を使うような奉仕活動に積極的に参加できるようになった。人から人へと人脈が派生することによってどんどん世界が広がり素晴らしい仲間が増え世界観がかわった。ロータリーメンバーと仲良くなる事が出来て関市で生きていける自信ができた。ロータリーメンバーの方達と出会ってから皆さんの凄さがわかって人と接するときに謙虚な気持ちになれるようになった。と様々な意見がありました。また、今峰先生は歯医者さんがこんなに商売っ気があるとは思わなくて、歯医者さんへの見方が変わった。とおっしゃられ、長尾先生は、治療をするだけでは無くてマネジメントもするようになっちゃったんだよ。これもロータリーのおかげだよ。っとニコニコしながら上手にテーマ沿った返答をされておられました。皆さんそれぞれがロータリーの素晴らしさを改めて認識し今後も多くの刺激を受けながら成長していきたいと気持ちを新たにされておられました。テーマからは離れた話ではありましたが香港の民主化運動はデモなのか暴動なのか、はたまたテロなのか？テロも暴動も成功すれば正義になり、革命となるが失敗すればテロや暴動になってしまう。社会生活に影響を及ぼすような公共機関を停止させてしまうものや、力によ

って何かを変えようとするものはデモではなく暴動やテロと変わらない。日本でデモ活動があっても暴徒化しないのは小さいころから道徳の授業で学んでいたたり、武道や武士道といった精神を鍛える文化があり、人を思いやる心が育っているからだろうという話もあり、いま旬な話題にも触れ活発な意見交換がされました。

最後になりましたが今回、ホストの塚田さんがご欠席でしたので集合写真をとって塚田さんに報告しフィリピンの方角に向かってお礼をさせて頂き閉会となりました。美味しい料理とお酒をご馳走して下さいました。ありがとうございました。

◆「職業奉仕とは何か」

国際ロータリー第 2630 地区 職業奉仕委員会 委員 北川有智様



こんにちは。お久しぶりです。国際ロータリー第 2630 地区研修部門委員会職業奉仕委員会委員の北川です。現在は、ホームクラブ岐阜エトス RC では、幹事と会長エレクトをしています。今日は職業地区奉仕委員会委員として職業奉仕についての卓話をいたします。

先日、大嘗祭に用いられた大嘗宮を見学してきました。多くの人が見学に来ておられましたが、これほど人を集める魅力は何なのだろうと考えさせられました。その後に行ったのが赤坂迎賓館ですが、ここでは他者への接待の重みについて学ばされました。「惹き付けの魅力」と「心ゆくまでの接待」は、ロータリーの例会に連なる線を感じさせられました。さて、ロータリーが他の奉仕団体と異なるところは、どこでしょうか。ご存じのように職業奉仕と、例会重視な点です。職業奉仕というと、ロータリーの特殊な表現ですので、難しいと感じられているかもしれませんが、ベテランの方々はご存知のように、本来のロータリー活動の理念を担うものです。職業奉仕とは何なのでしょう？日本のロータリアンの多くは、職業奉仕は難しいと言います。皆さんはいかがですか？職業奉仕はロータリーの理念ですから難しいと感じられるのは無理ないかもしれません。社会奉仕のように目に見える形のものではないので、取り付きにくいのも事実でしょう。しかし、目に見えるものは目に見えないものに支えられており、職業奉仕という理念があるからこそロータリーの社会奉仕活動は他と大きく異なっているとも言えます。では、職業奉仕とは何なのでしょう？元々の英語の原語では Vocational Service。Vocation とはビジネスではなく天から授けられた使命という意味があります。少し大げさな表現ですが、宗教者ですのお許しをいただくとして、つまりこの宇宙が、この地球が、私たち一人一人に授けた使命、それが Vocation と言い換える事も可能です。もう少しわかりやすく説明すると、職業奉仕には大きく二つの意味があります。一つはロータリーを含め、奉仕団体全てに通じるもの。もう一つはロータリーに固有のものです。共通なも

のとは、私たちの職業のスキルやメソッドを通じて、クラブ全体の中で社会に貢献していこうというものです。例を出せば、山の整備の際に、土木屋さんや清掃屋さんはそれぞれの仕事のスキルやメソッドが社会奉仕活動として用いることができます。タグラグビーのようなスポーツでの社会奉仕活動では、スポーツ用具店、スポーツ指導員、怪我などの時のための各種の医者や看護師が自らの仕事のスキルを用いて社会奉仕活動をすることができます。現在の国際ロータリー事務局はこの方向に舵を切っています。もう一つの、ロータリー独特のものとは、人生の道場として例会を通じて普段の仕事の職業倫理を高め、仕事を通じて社会貢献していこうというものです。これは他にないロータリーの独特な考え方であり、理念です。職業を通じて社会に貢献するという、日本古来の考えがロータリーと重なり、ですから日本でもロータリーは広く受け入れられてきました。伝統を大切にされるロータリアンであればあるほど、だからこそ例会を重視されています。個人的な意見ですが、私は各個人が、または各クラブが、各地域が、社会奉仕重視であっても例会重視であっても、どちらの傾向が強くても構わないと思っています。むしろ、そうした色彩が多様な地区であるべき、クラブであるべきかと感じています。普段は例会を通じて職業倫理を高め、時には社会奉仕活動をクラブが実践して職業倫理を高める象徴とすることも可能かと思っています。ただし、互いに意見の違うものを闇雲に否定しないことが大切だと感じます。これは故服部パストガバナーや、故竹腰パストガバナーが個人的にお教えいただけたことです。今日の私は職業奉仕委員会委員としてこの場に立っていますので、今日はあえて例会の充実についてお話し、職業奉仕の倫理観をいかに高めていくのか、人生の道場をいかに質の高いものにしていくのかというお話をいたします。ロータリーの例会の出席はロータリアンが会費を払っているが故に得られる権利です。ですから世界中のどこのロータリーでも出席できる権利があるということです。そして日本のロータリーの伝統的な考え方は、職業倫理を高めるための人生の道場が例会であるというものです。礼儀まずは私個人が何をしているのかをお伝えいたします。故服部パストガバナーより叩き込まれたのは「例会は人生の道場」ということです。そこで私が意識しているのは、例会場の入退場時に一礼すること。着席時に国旗とクラブ旗に向かって一礼することです。これは、そのクラブメンバーへの礼儀とともに場所空間への礼儀としてとらえているからです。時間に対しては僧侶としての師匠である高野山真言宗総本山第412世座主松長猊下より叩き込まれたのが時間についてです。早く来る者は全てを知り。遅く来る者は、自らが「知らない」ことさえ知らないもの。「一部の例外を除いて、週に一度、例会の時間を上手に作れない者は顧客に対しても上手に時間を作れないことが多い。」と故竹腰パストガバナーからも個人的に教えられました。では、職業倫理を高める例会の充実のための工夫を各クラブがどうしているかを例示していきます。

【会員間の親睦・知人から友情へ】

愛知県の名古屋東南ロータリークラブでは、会

員間の親睦を図るために、例会開始前一時間は会場外でコーヒースービスをし、点鐘の直後にすぐに会員間で握手会をされています。これは一人ぼっちにならない対策でもあるとのこと。また人数が多いと挨拶がなかなかできないからでもあるとのこと。同じ愛知県の名古屋大須ロータリークラブ（2016-2017年度）では、月に一回、特別な健康茶を出されていました。会員にお茶屋さんがおられたことも大きな要因ですが、苦いお茶や甘いお茶で会員を笑わせるとともに、会員の健康を願ってのことだと聞いています。クラブ間の親睦では、岐阜東南ロータリークラブ（2018-2019）が岐阜Bグループ内を有志でメイクアップして周られました。これをすることでクラブのみではなくグループ内での交流が深まり視野が広がったとのこと。案外身近なクラブでも自分のクラブと随分と違う発見をできるそうです。また自分のクラブの話で恐縮ですが、親子関係ではないのですが会員間で割と交流のある岐阜城RCと岐阜エトスRCでは年に数回合同例会を開いています。観桜例会・松茸を食す会などです。今年に入って、うちの会員の発案で岐阜エトスRCと岐阜Bグループ内有志が、月曜例会なので休会が多いこともあり他クラブと月に一回食事会をしています。こうしたクラブ奉仕は例会の充実の基本です。こうした工夫が、単なる知人から友情へと変化させていきます。「ロータリーの友情」と言い訳されることが少なくありませんが、ロータリーの友情とは、単なる知人から、例会を重ねることで互いに深く知り合っていく友情を育むもの。ロータリーに入っているから友情なのではなくそれは知人に過ぎません。そこらいかにかに深めていくのか、これは例会を重ね、時には事業をともにし、そうしながら互いを知り、故人の仕事上でも信頼しあっていくものこそ、本来のロータリーの友情です。倫理高く職業奉仕という、まずもって表に出てくるのは4つのテストです。例会は人生の道場、職業倫理を高める工夫として四つのテストの確認は重要です。これもうちのクラブメンバーからの発案で今年行ったのですが、あえて英語で四つのテストを読むというもの。「みんな」という言葉の原語はeveryoneではなくall concernedつまりすべての関係者というもの。このすべての関係者をどこまで狭め広げるかは各個人によって異なるでしょうが、やみくもに「みんな」ではなく「関係者」とされていることに英語で確認できます。好意についてもgoodwillつまり「善意」という意味であること分かりますし、「ためになるか」も「利益をもたらす」という意味が原語です。こうした英語に戻ることで、四つのテストを形式とするのではなく、意味を考えることができます。また岐阜加納RCや岐阜東南RCのように、四つのテストを正面に掲げたり、岐阜エトスRCのようにリーダーを毎回変えて毎例会で唱和したりすることも工夫かと思えます。そして会員の仕事の話卓話で聞き、別業種の内容からより高い倫理観を自らに課していく、ここに卓話の醍醐味があります。

【時間の工夫】

長野県の岡谷RCや福井県の敦賀RCでは例会の一時間をいかに充実させるかを検討した結果、食事を11時半から準備して例会前に食べてしまい、12時半までは自由に懇親、12時半からはクラブの

会議を徹底的に行なっています。私が敦賀 RC にメイキャップに伺ったときはココイチのカレーで、量は自由になっていました。そこで親睦を図り、12時半からは例会に集中。13時からは卓話や特別プログラムがあり、13時半には終了。終了後は速やかに解散されています。愛知県の名古屋ロータリークラブ、京都府の京都ロータリークラブ、また岐阜ロータリークラブでは点鐘とソングのあとにすぐに食事が始まります。これも時間の工夫のようで、戦前に出来上がった RC に多いあり方のようです。

【会長挨拶】

敦賀 RC ではクラブ会長の挨拶も充実しており、必ず会長自身の経験とロータリーの理念を語るようにされているそうです。また職業奉仕と情報委員会を一つに纏め理念委員会という名をつけられています。RID2630 職業奉仕委員会でも、会長挨拶にロータリーの話をはんの少しでも良いから入れるように、特に理念に係る内容であるように推奨しています。

【メイクアップの工夫】

ホームクラブの出席は基本ですが、どうしても出席できないときがあります。そこで生まれたのがメイクアップ。敦賀 RC と同じ国際ロータリー 2650 地区の京都グループでは京都市内の各クラブの二カ月前までの例会情報を共有し週報に掲載されています。これはメイクアップをしやすくすることと、他の良き点を吸収し、自らの悪しき点を改善することに役立っているそうです。情報を発信し情報を交換することで、実は自クラブの例会充実につながっているそうです。

【通常例会の充実のために】

奈良県橿原市にある「あすかロータリークラブ」。昨年度のガバナーを輩出したクラブです。ここでは「寄付による奉仕活動」ではなく「汗をかく奉仕活動」を目指されています。そのために通常の例会ではクラブビジョンやクラブ戦略に重点を置き、社会奉仕活動は地域住民とともに行うようにされています。そのロータリー活動のサポートチームとして「チームアスカ」を作られたそうです。

【タブーのない話し合い】

群馬県の前橋ロータリークラブ。21世紀特別委員会という未来を語る場を設けられたとのこと。ロータリー活動をしていく中で理想と現実があり、そのなかでロータリークラブとはどうあるべきか、理想のロータリアンとは、理想のロータリー活動とはなにかを語り合い、現実と比較し、そのギャップを埋める委員会で、ロータリーの肯定面や否定面をありのままに見つめて、その内容を例会で還元されているそうです。その場合、自分の仕事で困ったことなどのタブーを設けないことを大切にされているそうです。神奈川県茅ヶ崎ロータリークラブでは、会員の現実的な悩みを相談議論する場を設けておられるそうです。これは辞めた会員の辞めた理由を検討し、辞めた会員の復帰などができるようにフォローし、そこから生まれた場だそうです。他にもいろいろな例がありますが、多くのクラブが自らのクラブを充実させるために、工夫を凝らしています。こうした工夫を、多くのクラブがもっと発信し、情報を共有することで各クラブの例会、職業倫理を高める場と

して、人生の道場としての例会がより充実していくのではないのでしょうか？自らの職業を充実させるために例会に出席し職業倫理を高め、例会を充実させるために、その工夫を他クラブに発信し、ときには職業では直接できなくとも職業のスキルを持って社会奉仕をし、そしてやはり自らの職業倫理観を高めていく、これがロータリーだと思います。こうした職業奉仕という職業倫理の向上は他の団体にはないものの考え方です。私たちロータリアンが誇りを持つべき内容だと思います。マローニー国際ロータリー会長は仰っておられます。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」と。そのために国連が主導している 17 のゴールを設定した SDGs にもロータリーは取り組むと表明されました。これを受け、私達ロータリアンは社会の動きに敏感である必要を感じます。もっといって、SDGs のような特殊な問題だけでなく、伝統・ハイテク・経済・政治・文化・宗教、その他 あらゆる分野で学ぶことがあり、それを学ぶ例会はとても重要な場です。SDGs も含めそれら全て職業奉仕として結びついていると言えます。「場」に対する礼を尽くしたいのはそのためでもあります。繰り返します。普段は例会を通じて職業倫理を高め、時には社会奉仕活動をクラブとして実践して、その活動さえも職業倫理を高める象徴とすることも可能です。関ロータリークラブはロータリー財団の財団補助金小委員会の委員長を輩出されています。どこよりも社会奉仕に力を入れられてきていると思います。その社会奉仕を充実させるためにも、また日本の伝統である職業奉仕を充実させるためにも、関ロータリーが工夫されている内容をぜひ他クラブへと発信していただければ嬉しく存じます。

実際の卓話では、煩瑣な発表になってしまったこと深くお詫び申し上げます。この原稿を読んで頂ければ、卓話の言いたかったことを理解していただけたと思います。お詫びとともに深く感謝いたします。



次例会のご案内 12月11日(水)
家族会「鈴木雅之ディナーショー」
於：都ホテル 岐阜長良川
担当：親睦活動委員会